



一年間の御支援、御協力有り難うございました

校長 井之上 良一

早いもので、平成から令和へと、新時代の幕開けとなった令和元年度も残すところわずかとなりました。学校は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための臨時休業措置により、事実上三月の教育活動を実施することができない事態となってしまいました。この間、特に、保護者の皆様方には、多大な御負担をおかけすることになったものと存じます。また、地域の皆様方には、卒業式の縮小実施に伴って出席を控えていただくなど、大変御迷惑をおかけいたしました。感染拡大につきましては、今なおお断を許さないものの、現在のところ、春休み明けの4月6日(月)からは通常どおり教育活動を再開できる見通しとなり、ひとまず安堵しているところです。

去る12日(木)に举行された卒業式では、保護者の皆様方に御臨席を賜り、3年生が感謝の思いを伝えながら本校を巣立っていきました。3年生はこの一年間、土橋中学校のリーダーとして、学校のあるべき姿に向かって一生懸命努力してくれました。また、日々の授業では、いつも笑顔を絶やさず、学び合い、教え合う姿を見せてくれました。お互いを思いやり、下級生にも優しくかった3年生の姿は、教職員や在校生の心にいつまでも残り続けることだろうと思います。卒業生の進路に幸多かれと願いますとともに今後益々の活躍を祈りたいと思います。

さて、今年度もたくさんの校内・校外行事が行われました。特筆できるものとして、幼・小・中・校区合同運動会や文化祭を挙げる事ができると思います。いずれも保護者や地域の皆様方の御支援や御協力に支えられて盛大に開催することができました。こうした行事への地域の皆様方の積極的な御協力には、いつも感謝とともに頭が下がる思いがいたします。学校に寄せる本地区の皆様方の思いを肌で感じる事ができ、何よりの学校への激励となっております。

P.T.A活動におきましては、二つの専門部がそれぞれに協力して力を発揮していただきました。リサイクル活動や校外補導、通学路の草払い・安全点検の実施、ビジュアルで読みやすく、内容の工夫されたP.T.A新聞の発行など、多大な御協力をいただきました。子どもたちの健全育成を目指して、学校と保護者が一体となって取り組むことができますことを大変有り難く思っております。

3年生の保護者の皆様、子どもたちの卒業、誠におめでとうございました。中学校の3年間は、保護者として気苦労も多かったことだろうと拝察いたします。この間、本校の教育活動に対しまして、多大な御支援、御協力を頂戴いたしました。心からお礼を申し上げます。中には、今年度をもって本校P.T.Aを卒業される方もいらっしゃると思いますが、今後とも学校に対しまして側面からの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

2年生の保護者の皆様、子どもたちはいよいよ最上級生になり、進路選択の問題も現実味を帯びてきます。親や祖父母が生きてきた道程を語り、人間としての生き方・在り方について共に考える努力をしていただければ幸いです。

1年生の保護者の皆様、子どもたちは4月から中堅学年となります。学校にも

慣れ、明るく伸び伸びと生活しており、リーダーとしてもフォロワーとしても大切な役割を担うこととなります。今後とも、親子の会話の場を積極的に持ち、心の交流を深めていただければ幸いです。

最後になりましたが、地域の皆様方の一年間の御支援、御協力に対しまして心からお礼を申し上げます。また、各世帯に学校便りをお届けくださいました自治会長さんや班長をしていただいた皆様方の御尽力に心から感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

第70回卒業式 3/12

第70回卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒と卒業生の保護者、職員のみで実施しました。練習もできない状況での卒業式でしたが、生徒たちは、普段から鍛えられ、色々なことに主体的に取り組んでいる成果が発揮され、厳かな中にもあたたかな雰囲気のある卒業式にしてくれました。4名の卒業生は、第1希望の高等学校への進学も決定しました。本校での思い出を糧に、これからも活躍してくれると期待しています。



ありがとうございます~卒業記念品の寄贈~

本校を昭和33年に卒業された坂上正守さんが手作りで焼かれた焼き物の皿を、令和初の卒業生4名に寄贈していただきました。坂上さんは、第1回県下中学校剣道大会で優勝したときの大将をつとめ、「剣道の土橋中」の伝統を築き始めた大先輩です。土橋中での思い出をいつまでも心に留め置いてほしい、土橋中のことを語り継いでほしいという願いを込めて記念の皿を寄贈していただきました。



令和元年度鹿児島学習定着度調査の結果

1月15日、16日に実施された鹿児島学習定着度調査は、1・2年生とも、ほぼ全ての教科で県平均を上回り、右記のような結果となりました。また、本校の例年の課題であった「思考・表現」の力を見る問題の正答率も、県平均を上回っており、これまでの取組の成果が現れ始めていると捉えます。個人別に分析した結果をもとに、今後の個別指導に生かして参ります。

県平均を100としたときの5教科合計の指数

1年生	106
2年生	111

土橋中学校の1年間（令和元年度を振り返って）

勉学（知）

確かな学力の定着

授業に「発表・表現の場」を設定し、話し合い活動の充実に努めました。また、個別の家庭学習課題を付与し、自宅学習の質の向上をめざしました。



保健体育科の授業

キャリア教育の充実

職場体験学習では、事前・事後の学習を充実させ、保護者や事業所の協力をいただきながら今後の生き方について考えさせることができました。



職場体験学習

郷土教育（国際理解教育）の充実

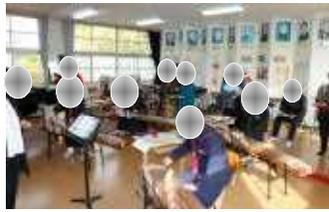
ウメ収穫・販売や地域ふれあい活動などの地域貢献活動を推進するとともに、「ひおき学」では外部講師を招聘してフィールドワークの充実を図りました。



ひおき学フィールドワーク

職員研修の充実

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、年間5回の研究授業を実施しました。また、小学校と合同で体力向上を図るための研究を進めました。



音楽科研究授業

礼節（徳）

心の教育・人権教育の充実

「考え議論する道徳」をめざした授業改善に努めました。また、外部講師を招聘して人権教室を実施するなどし、人権意識の高揚を図りました。



「特別の教科 道徳」の授業

生徒指導の充実

心の伝わる挨拶「5あいさつ」を徹底させました。また、生徒会活動の充実を図るため、生徒が主体的に活動する場を設定しました。



生徒会による3年生激励の寄せ書き

環境教育・環境整備の充実

スリッパ並べやカバン棚の整理整頓など一事徹底に努めました。また、外部講師を招聘して、環境問題について考える特別授業を実施しました。



石田先生による特別授業

P T A 活動の活性化

「学校と家庭の共通実践事項」を配布し、「生活の記録」を介して3つの時刻の定着を図るようにしました。また、子育てに関する講話を多く設定しました。



保護者セミナー

剛健（体）

体力向上

目標を持って体力づくり（朝のランニング、昼休みの運動等）に取り組めるよう環境を整えました。一家庭一運動として縄跳びにも取り組ませました。



朝のランニング

健康教育の充実

生活点検表で1週間の家庭生活を振り返らせ、規則正しい生活を送れるよう促しました。また、保健タイム等で健康的な生活について考えさせました。



正しい歯磨きの仕方の発表

安全指導の充実

シミュレーターを利用した交通安全教室や警察と連携した不審者対策訓練、引き渡し訓練など、実地的な訓練となるように努めました。



交通安全教室

地域との連携

地域からの情報提供がきっかけで、保健体育科の授業で剣道に取り組むことができました。また、地域ふれあい活動等でも多くの御協力をいただきました。



保健体育科「剣道」の授業